

# 売れる米技術情報

## ～ 売れる「新潟なんかん米」づくり運動～

### 品質向上対策3本柱！

- ①適正初数確保  
(小できな稲づくり)
- ②後期栄養・水の確保  
(粒張りの良い米づくり)
- ③土づくり  
(気象変動に強い稲づくり)

平成 18 年 4 月 19 日  
新潟なんかん米改良協会  
県央農業振興会議  
三条農業普及指導センター

## 1 適期田植え 50 株 3～4 本植え

- ・ 高品質化のためには、出穂後の平均気温が 25～26℃となる 8 月 5 日以降に出穂させることが重要です。このため、田植え時期は 5 月 10 日頃が目安となります。高温登熟を避け、適期田植を徹底しましょう。
- ・ 平坦地のコシヒカリは、植え付け株数を坪当たり 50 株、1 株あたり本数 3～4 本を徹底しましょう。
- ・ は種が早い場合は、中干しの早期徹底で適正もみ数に抑えましょう。

## 2 初期の水管理

- ・ 活着するまでは、水深を 3～4 cm にし、保温的な水管理を心がけましょう。
- ・ 活着後は 2～3 cm のやや浅水で水温の上昇を図りましょう。
- ・ 5 月下旬からワキ（ガス）が発生し、根を傷めます。水田に足を踏み入れると気泡が多く発生する場合は、水の入れ替えや夜間落水などにより、ガス抜きを行ってください。

## 3 除草剤は、田面の均平と漏水防止が大切

※農薬は、使用量、使用時期、使用回数など登録内容を確認し、使用者が責任を持って使用しましょう。

- ・ 一発処理剤の使用を基本とします。
- ・ 初期剤の田植え前使用は、代かきから田植えまでの期間が 7 日以上の場合のみ行いましょう。
- ・ 処理後 4～5 日間は湛水状態を保ちましょう。

## 4 補植は不要

- ・ 補植は 2 株以上連続して欠株になった場合のみ行いましょう。
- ・ 補植苗はいもち病の発生源になるので速やかに除去しましょう。

トラクター、田植機等の始業前点検、作業後点検・清掃を徹底し農作業事故防止を！

### 【トピックス】育苗後半の管理について

- ①硬化期の温度管理  
昼：15～20℃  
夜：10～15℃
- ②硬化期の水管理  
苗の成長に応じて蒸散量が多くなるので、1 日 1 回午前中のかん水を基本に、土の乾燥歩合に応じて 2 回かん水する。  
ただし、夕方のかん水は避ける。
- ③追肥  
葉色が薄い場合は、田植えの 3～4 日前に窒素 1g/箱程度追肥する。